

一般質問

・町内会加入について



名波和寛

住みよいまちづくりのため、町内会において地域防

災への参加や地域福祉の向上、行政との協働のまちづくりの推進を図るために、その必要性は確実に増大している。このような状況の中、今後の町内会への加入促進について伺う

答 町内会は、地域住民がお互いに協力し、地域の環境美化や防犯、災害時の助け合いなど、地域で安心して暮らしていくために重要な役割を担っています。

町内会の加入率が低下している原因は、価値観の多様化により地域とのつながりが希薄になっていることや、生活様式の変化により共働き世帯が増加していること、また少子高齢化の進行により高齢者世帯の町内会活動への参加が困難になっていることなど、様々な原因があると考えられます。

また、町内会に加入することにより、会合や防災訓練、側溝の掃除や草刈りなどへの参加も煩わしいと考えられているのかもしれない

せん。

市といたしましては、市民課窓口で転入者へ町内会加入の呼びかけや定住促進住宅取得補助金制度で町内会へ加入することを交付条件に施策を進めております。

いずれにいたしましても行政だけでは解決できない部分もありますので、町内会におかれましても誰もが活動に参加しやすい環境づくりをしていくことが、町内会加入の促進に繋がるものと考えます。



一般質問

・女性の視点からの防災・減災の推進について



齋藤佳子

女性の視点をしっかりと踏まえた防災・減災を推進していく必要があるが、市長はどのようにリーダーシップを発揮していかれるか

問 大規模災害に即応できる防災対策の一層の充実が求められています。また、避難生活における男女が受ける影響やニーズへのきめ細やかな対応が重要です。避難所の運営は実際に避難された方が行うこととなりますので、住民自身による自助、地域コミュニティなどにおける共助が災害対策に重要な役割を果たします。災害はいつ、どこで、どのような形で発生するかわかりません。誰もが被災者や避難者となり得ます。誰かがやってくれると考えずに、市民一人ひとりが災害に対する意識を持っていただくことが重要であり、男女共同による地域の絆づくりが災害時における男女ニーズの解決につながると思います。市としましては、自主防災組織の育成、強化や、防災リー

ダーの育成を図る際、女性の参画促進に努めていきます。

問 地域防災会議への女性委員の登用は、国の防災基本計画や男女共同参画の視点からの防災復興ガイドラインなど主要な計画や指針において取り組むべきこととされているが、御前崎市防災会議における女性委員登用の進捗状況はいかがか

答 「御前崎市防災会議条例第3条第5項」により「その他市長が特に必要と認める者」を会議委員に任命することができるとなっています。現在の委員構成におきまして、自衛隊、海上保安庁、警察署、静岡地方気象台、国土交通省御前崎港管理事務所などの委員は男性のみです。これまでも「女性の視点を踏まえた防災・減災」について、献身的に活動されている齋藤佳子議員が適任であり、任命したいと考えていますので、ご検討いただきたいと思います。

また、町内会に加入することにより、会合や防災訓練、側溝の掃除や草刈りなどへの参加も煩わしいと考えられているのかもしれない